

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 東リ(株) 伊丹工場

1 環境保全活動に関する方針等

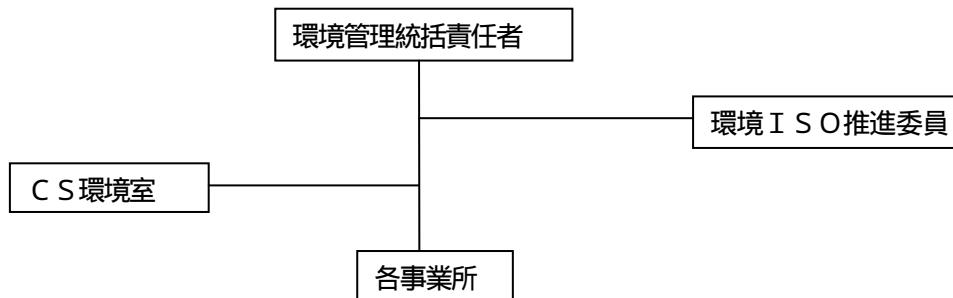
1 - 1 環境保全活動に関する方針

「インテリア事業を通じて、生活文化の向上に貢献する」という企業理念のもとに、企業活動の全てにおいて環境共生社会の実現をめざします。

1. 企業活動すべての分野で環境への負荷を低減させるため、適切な施策を実施する。
2. 地球環境保全に有効な商品開発、技術開発、システム開発、顧客サービスに積極的に取り組む。
3. 活動における省エネ・省資源・リサイクルに継続的な取組を計るとともに、地域社会と共生した環境活動を推進する。

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

環境管理に関する体制



環境管理統括責任者：環境マネジメントシステム（EMS）の要求事項が確立され、実施されかつ維持されることを確実にする。また、EMSの改善のための提案を含め、レビューのために、社長にEMSのパフォーマンスを報告する。

環境ISO推進委員会：東リ株式会社の環境に関わる事項の見直しを審議する最高機関。

CS環境室：EMSの維持・運用について、内部環境監査の実施・環境ISO推進委員会の運営・環境教育の実施などの業務の責任と権限がある。

各事業所：EMSの維持・運用について、各事業所に1名環境管理責任者をおく。

担当部署の名称及び連絡先の明示

CS環境室 TEL：06-6494-1535

2 環境保全活動の実施状況等

目標	取組結果	今後の取組計画
1.低炭素商品の 前年度比2%UP	・全社で前年度比3.2%ダウンし63.4%。 メンテナンスが容易なSFフロア・ホスピリウム、 ルースレイトイルのノンワックス機能品を開発した。	・低炭素商品の品種を 2015年度までに75% 以上にする。
2.グリーン購入の実施 FSC認証紙の使用 推進	・グリーン購入(本社59.5%、営業61.0%) ・エコマーク対象品(本社14.0%、営業15.3%) ・カレンダーなどFSC認証紙使用を計画	・グリーン購入の実施 2015年度までに70% に向上。 FSC認証紙使用を全 販促物の95%以上に。
3.省エネ 前年度比原単位で1% 削減する。	・関連会社も含み、生産量減少などもあり2010年 度比-1.9%削減(2000年度比-12.8%) 東り全体のエネルギー使用量は原単位で0.0118% の増加となった。	・前年度比原単位で 1%削減する
4.リサイクル リサイクルシステム の実行	・I.F.A.にて紙管回収の広域認定取得検討中 ・2011年度I.F.A.リサイクル量:0.5t ・タイルカーペットのリサイクルチップ272t (通期103%)	・リサイクル率を 2015年度までに 85%以上にする。
5.廃棄物対策 2011年度は、2000年 度ベースの3%を 2010年度より削減	・全体で705t増加 (リサイクル不可能な製品の増加による)	・2015年までに 2000年度比で40% 削減する
6.化学物質の適正管理 製品規格、MSDS等 への記載。	・原材料の放射能調査及びPCB含有顔料の調査実施	・製品規格、MSDS 等への記載。
7.地域社会への貢献	・さくら(花見)祭りの開催 ・伊丹市環境監査実施	・地域貢献活動の継 続的な実施
8.環境教育	・新入社員研修にて教育の実施 ・社内報での啓蒙 ・環境便りとして年9回の情報配信。 ・社外向け環境セミナーの実施	・環境保全に関する従 業員教育の徹底を 図る。